



たもんのこ



令和7年6月26日
認定こども園
世田谷区立多聞幼稚園
園長 山路 智之

メダカのお引越し大作戦

副園長 藤田 雅美

今年の6月は盛夏期のような厳しい暑さが続くかと思えば、また梅雨に戻りと落ち着かない天候です。先日は、土曜参加参観にご参加いただきありがとうございました。3歳では普段の遊びを中心に、4歳では親子の触れ合い遊びとアスレチック、5歳は親子で工夫を凝らした製作と親子対決の白熱したゲーム、それぞれの学年で笑顔があふれる楽しい時間となったことを嬉しく思います。これからの夏本番に向けて、熱中症対策を十分に行いながら元気に過ごしていきたいと思います。

さてこの春、年長組が飼育しているメダカが卵を産み、12匹の赤ちゃんメダカが誕生しました。子どもたちは小さな命に目を輝かせ、赤ちゃん用の水槽を『メダカはいくえん』と名付けて毎日観察をしています。赤ちゃんメダカは順調に大きくなり、5～7ミリほどの大きさに育ってきました。

やがて、子どもたちから「メダカはどんな場所に住んでいるの?」「何を食べているの?」「どのくらい生きるの?」など素朴な疑問が次々に生まれ、メダカについてもっと知りたいという気持ちが広がっていきました。そこで、地域のアクアリウムショップの日向さんをお招きして、子どもたちの素朴な疑問、メダカの暮らしについて教えていただく機会を設けました。子どもたちから出てくるたくさんの質問に一つ一つ丁寧に答えてくださる日向さん、その話の中には専門的な用語もたくさんありましたが、自分なりに意味を考え聴き入っていました。子どもたちは専門家とかかわる中で新しい知識に触れ、日向さんと一緒にある提案を考えました。

「メダカの広いお家を作ってあげよう!」

「水草やお花がたくさん咲く場所で元気に育つようにしよう!」

「園庭に池を作って、メダカをお引越しさせよう!」

こうして始まったのが、『メダカのお引越し大作戦』です。年長組はクラスでメダカ会議をしながら、園庭の一角に小さな池を作る準備を少しずつ進めようとしています。

お引越し大作戦の途中では、これまで飼っていたメダカが残念ながら死んでしまうという悲しい出来事もありました。メダカのお墓を作り、「天国で元気に過ごしてね!」と、園庭のお花を供えました。

メダカの池は、おじいちゃんメダカが眠っているお墓の近くに作ることにしました。「ここだったら、死んじゃったメダカもきっと寂しくないよね!」と担任と子どもたちが話し合いました。

年長児はメダカの命と向き合う中で仲間と一緒に様々なことを感じ、考えています。今後の池作りの中でも、様々な困難があることでしょう。小さな命との触れ合いが子どもたちの心に残る大きな学びとなることを願いながら、その姿をあたたく見守っていききたいと思います。

今月、各学年で、大切にしたいこと

<年少>○プール遊びや水遊びの着替えを教師と一緒にしようとする。

○水の感触や気持ちよさを感じながら、プール遊びや水遊びを教師や友達と一緒に楽しめるようにする。

○栽培物に親しみをもって見たり水やりをしたりし、収穫して食べるうれしさを感じられるようにする。

<年中>○自分の思いを出しながら、友達と遊ぶ中でつながりを感じられるようにする。

○約束を守って安全にプール遊びや水遊びをし、自分で身支度や後片付けができるようにする。

○栽培物を見たり、水やりをしたりする中で、生長を楽しみにし、収穫して食べる喜びを感じられるようにする。

<年長>○自分なりに目的をもち、試したり工夫したりしながら遊ぶことを楽しめるようにする。

○プール遊びや水遊びの約束を守り、安全に楽しく遊べるようにする。